



東京2020オリンピックは8月8日に閉会となりましたが、東京2020オリンピックが8月24日に開会式を迎えます。それにあわせて、全国各地で聖火の採火式が行われています。



三本松高校

7月14日

## 投票の大切さを学ぶ

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、高校生にも政治や選挙制度に興味を持ってもらい、一票の大切さを学んでもらおうと、3年生の84人に県と市の選挙管理委員会職員が出席講座を行いました。

最初に選挙の歴史や意義の講義を受けました。その後の模擬投票の体験では候補者役の先生らの演説を聞いて、実際の投票記載台や投票箱を使って投票や開票作業の体験をしました。



市役所会議室

7月19日

## 東かがわリトルシニア全国大会へ

中学硬式野球のクラブチーム「東かがわリトルシニア」が、7月26日から北九州市で開催される第12回林和男旗杯野球大会兼九州連盟創立40周年記念全国選抜野球大会へ出場するというので市長を表敬訪問しました。

選手たちは「打てそう?」「目標は?」の質問に「はい」「優勝します」とすぐ答えるなど意気込みを語りました。優勝報告を楽しみにしています。



障害者支援施設 さつき園

8月12日

## 東京2020パラリンピック聖火リレー採火式

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル「東かがわ市共生の火」の採火式が行われました。

参加した市身体障がい者協会工藤会長、たけのこ教室の山中さんらは、まいぎり式火起こし器で火種を作り、麻くずに火種を入れて火を起こしました。使われた火起こし器は、市少年少女発明クラブ(長谷川会長)がこの日のために創意工夫をして作成したものです。

この日は雨で湿度が高く、普段よりも火が点きにくく、1時間近くかかりましたが、無事ランタンに灯がともりました。採火された本市の共生の火は、県で集火されます。

日本各地で採火され、全都道府県から送り出された47の聖火と英国ストックマンデビルで採火された聖火は東京で一つになり「東京2020パラリンピック聖火」が誕生し、選手たちを見守ります。

